



姥倉山頂上に這い上がる親子（頂上直下）

〔メモ〕

【参加者総数】	35名
講師（山岳ガイド）	2名
一般参加者(7家族)	19名
VC職員	2名
パークボランティア	12名

【概況】（文責：阿部）

- ・ あいにくの曇天で、姥倉山頂付近は視界不良であったが、全員元気に登頂下山できた。
- ・ 子供たちのペースでの行動で、ゆっくりと登山道脇に咲く花々を観察できて、親たちも満足された様子であった。
- ・ 子供たちを中心とする自然観察会などは、思いがけない質問や感想に戸惑うこともあるが、その旺盛な好奇心と常識に捕らわれない発想は大事に育てたいと思う。

〈今回の講師〉

日本山岳ガイド協会公認ガイド  
三浦明夫氏、米澤邦彦氏

〈今回の支援出動PV〉12名（敬称略）

広野、米田、三上、米澤（一）、松本、佐々木（満）、民部田、浪岡、佐々木（貴）、福山、中田、阿部



第一リフトを降りて雫石盆地を眺める2班（三浦ガイド）



姥倉山麓で植物観察 1班（米澤ガイド）



濃霧の姥倉分岐に全員集合





配布資料の一部 (ビジターセンター解説員の力作)



開会セレモニー (網張リフト乗場前)



濃霧の中、視界50m程度か?



リフト終点で準備体操 (2班)



今日のコースを地図で確認 (1班)



網張展望台で「今日はこちらに登るんだよ」 (2班)



水場にて小休憩 (1班)



姥倉分岐直下の急坂を登る



姥倉分岐は濃霧の中



姥倉山頂尾根北側の残雪に遊ぶ (撮影: 民部田)



姥倉山頂にて1班



同左、2班



下山時姥倉山麓にて 話題提供の子供たち  
米田PVが自然解説を始めたら、「まず、降りましょうや!」と一言。  
周りの大人たちは唖然、そして大笑い。本日最高のエピソード



【行事を支えるパークボランティアたち】



〈登山道の安全対策〉 先行して、残雪の踏み抜き危険個所対策や転倒防止のステップ作りなどを実施



〈携帯トイレの設置と撤収〉

〈説明や話し相手、見守りなど〉



【今回撮影出来た花々】



ゴゼンタチバナ



各班の最後尾で、一行の安全を確認



ナナカマド



ツマトリソウ



マイヅルソウ



イワカガミ



オオカメノキ



ショウジョウバカマ



サンカヨウ



ミツバオウレン



ツバメオモト



ベニバナイチゴ



オオバキスミレ



ミネカエデ



ミネザクラ



ムラサキヤシオツツジ



エンレイソウ



ハクサンチドリ



ヤグルマソウ